

平成29年度 おきぎんふるさと振興基金  
ブックパーリーOKINAWA実行委員会 「かつてここには町の本屋さんがあった～  
懐かし写真展～」事業報告書

本事業についての概要を以下に記す。  
その成果を「沖縄の本屋の歴史」としてまとめるために調査を継続中である。

1、文献等調査（～現在継続中。調査期間は随時）

---

【文字資料】

- 沖縄の本屋に関する文献資料の収集および分析を行い、本調査の基礎資料とした。（沖縄県立図書館ほか、各地の図書館ならびに資料館、商工会議所などへ出向き、資料を借り出して活用）
- 古い商店街地図などにより、かつてあった店舗の特定作業を行った。

【写真資料】

- 沖縄県公文書館・那覇市歴史博物館の画像データベースより本屋の写真を検索し、入手した写真は以下の通り。  
沖縄県公文書館...22枚／那覇市歴史博物館...37枚
- 各種文献・新聞などからのリサーチ...300枚程度
- 現存する書店からの借り出し...40枚程度

〈写真説明〉那覇・歳末風景・平和通り商店街（1964年12月）\_051333



2、現地調査ならびに現存する書店からの聞き取り

---

調査期間中には書店関係者から聞き取りを行った。主なものは以下の通り。

【2017年7月19日（水）】

「大城書店」取材（大城行治会長・比嘉直美取締役）

〈写真説明〉昭和30年頃、読谷村高志保三角にあった大城書房（のちの大城書店）。  
提供：大城書店



【2017年8月1日（火）】

「金武文化堂」取材（新嶋正規氏・節子氏さん取材）

〈写真説明〉金武文化堂の経営一家、新嶋ファミリー。1965年1月2日。提供：金武文化堂



【2017年8月10日】

「沖縄県教科書供給」聞き取り（仲村社長）

【2017年8月25日（金） 石垣調査】

●石垣市商工会にて関係資料の調査

●「サンテック（日照堂）」取材

〈写真説明〉石垣の日照堂（1967年3月）。本に加えて文具、さらに野球のユニフォームやバットまで扱っていたという。提供：サンテック



- 「山田書店（タウンパルやまだ）」取材（山田美智子取締役・山田隆雄社長・山田克巳店長）
- 石垣の図書館・出版関係者より、現在・過去の書店の足跡を聞き取り（南山舎・大盛氏／砂川哲雄氏／山根頼子氏）
- 石垣市内の書店跡地の現地調査（現存しない各店舗の跡地特定・写真撮影）

【2017年8月26日（土）】

- 「村中書店」取材（村中用三氏・康さんご夫妻）

〈写真説明〉石垣・村中書店。創業は1961年、村中康さんが中心となって切り盛りし、のちに夫の用三さんも会社勤めをやめて二人三脚で本屋業に専念した。提供：村中書店



- 石垣市内の書店跡地の現地調査（現存しない店舗の跡地特定・写真撮影）

【2017年8月27日（日）】

- 宮古島総合博物館にて古地図調査
- 宮古島市立城辺図書館にて地図・関係資料の調査
- 郷土史研究家・仲宗根将二（まさじ）氏への聞き取り

【2017年8月28日（月）】

- ブックスきょうはん宮古南店 取材（久貝広美店長）
- 宮古島市図書館本館／平良分館にて地図・関係資料の調査
- 平良区内・池間島・伊良部島の現地調査（現存しない店舗の跡地特定・写真撮影）

〈写真説明〉池間島の本屋伸学喜書店の写真（左：現在/右：書店だった頃の外観）



【2017年9月25日（土）】

- 名護市内の書店調査
- 名護市立図書館・名護博物館での地図調査
- 現地の関係者への聞き取り調査（M氏）

【2018年1月14日（日）】

- 沖縄市内の書店調査
- 沖縄市図書館・沖縄市商工会での資料調査ならびに借り出し

【2018年2月8日（木）】

- 沖縄市内の書店調査
- 現地関係者への聞き取り調査（M氏）

【2018年3月20日（火）】

- 那覇市内の書店調査
- 出版関係者への聞き取り調査（沖縄県産本ネットワーク）

【2018年3月21日（水）】

- 書店取次関係者への聞き取り（元取次勤務）

上記調査により収集した資料および写真によって、以下の通りで写真展を開催した。総計で写真120枚（パネルおよび展示ファイル）、本屋の歴史概況・インタビュー（パネル）を掲示した。

### 【写真展巡回地、および日程】

#### ●大城書店読谷店

会期：9月17日（日）～9月24日（日）／住所：読谷村座喜味3171／電話：098（957）1844

来場者数は延べ150人

地元で有名な書店ということもあり、来場者が多数。同書店の古い書店も掲示していたところ、「かつて父親がこの書店で働いており、父の写真も見つけた」という声があった。

### 〈写真説明〉大城書店読谷店でのイベントの様子



### 〈写真説明〉大城書店での展示を紹介する新聞記事

**町の本屋写真で懐古**  
読谷・大城書店きょうまで展示

【読谷】県内の書や古書（主権・同実行委員会）出版関係者など関係者の一環として、村歴史の多彩な催しを行う「フックハ」大城書店読谷店が17日から「かリー・OKINAWA」のついでには町の本屋さんが

あたらしく「写真展」が開かれている。写真展は、現在は読谷・壺納、石川の3店舗を回る大城書店の「写真展」が、県内各地の16本の写真も展示される。24日は午前10時から正午まで、なつかし写真展は次は名護博物館で28日から10月1日まで開かれる。

ほれる場所にあつた1955年当時の店舗写真など大城書店の姿が紹介される。村内に住む石原末子さん（77）は「ホールへを落したときなど、よく大城書店に足を運ぶようになった。1年半ほど前に閉鎖した。伊良部店もなつていね」と話した。

旧川市の「ケット」で書籍を扱う種崎が掲げられた様子（52年）と撮影や那覇市のカー川川地区で水被書を受けるはなし書店（61年撮影）が、県内各地の16本の写真も展示される。24日は午前10時から正午まで、なつかし写真展は次は名護博物館で28日から10月1日まで開かれる。

（2017年9月24日（日）沖縄タイムス地域面）

●名護博物館

会期：9月26日（日）～10月1日（日）／住所：名護市東江1丁目8-11／電話：0980（53）1342

来場者数は延べ200人

〈写真説明〉名護博物館の展示会場



●ブックカフェブッキッシュ

会期：10月3日（火）～10月8日（日）／住所：西原町棚原83-1／電話：098（944）2706

来場者数は延べ100人

〈写真説明〉ブックカフェブッキッシュでのイベントの様子



●金武町立図書館

会期：10月24日（火）～10月29日（日）※最終日16時まで／住所：金武町金武1827／電話：098（968）5004

台風のために一日短縮となったが、地元の書店がPR活動を実施してくれたこともあり、来場者数は延べ200人

〈写真説明〉金武町立図書館でのイベントの様子



●沖縄県立図書館

来場者数延べ500人

会期：11月1日（水）～11月13日（月）※火曜休館 住所：那覇市寄宮1丁目2-16  
／電話098（834）1218

〈写真説明〉沖縄県立図書館でのイベントの様子



4、トークイベントの開催

「かつてここには町の本屋さんがあった ～なつかし写真展～」開催記念トークショーを開催した。出版関係者のみならず一般の来場も多数あり、来場者はおよそ150名に上った。

11月4日（土） 14時30分～16時 沖縄県立図書館3階ホール（入場無料）

出演：宮城未来・喜納えりか（いずれもブックパーリーOKINAWA実行委員会）

〈写真説明〉イベントフライヤー



# なつかし町の本屋さん



1960年代に撮影された「金武文化堂」(新橋正 提供)

地域で愛されてきた書店を写真で紹介する「かつてここには町の本屋さんがあったなつかし写真展」が17日から始まる。11月まで県内5カ所を巡り、沖縄の歴史と文化を伝えてきた存在に光を当てていく。

地元出版社による県産本が意欲的に刊行される中、「出版王国」と言われる沖縄にあってもかつて近所にあったような小さな書店は次々と姿を消している。活字離れに加え、大型書店の進出や、手軽に書や雑誌が手に入るインターネット書店やコンビニの普及なども影響しているという。

今回の写真展では、創業50年以上の老舗「金武文化堂」なども今も地域に根差す書店を紹介するが、ほとんどが閉店や移転するなどし、現存しない店舗という。実行委員の喜納えりかさん(ポーターインク編集者)と宮城未来さん(古書店の店主)が写真を含めた聞き取り調査に加え、写真集や商談会講座



写真展開催をPRする実行委員の喜納えりかさん(左)と宮城未来さん(右)。8月19日、那覇市のポーターインク

## 17日から 県内5カ所、巡回写真展

の記念誌。市町史などをしらみつぶしにめぐり、本屋が写り込んでいないか探し出した。貴重な娯楽で情報源だった「町の本屋さん」。喜納さんは「町の本屋さんがなければ、沖縄の教育、文化、知識の発展はなかった」と語る。「写真を見ることで記憶を思い起こされ、付録する情報を拱してもえたらうれし」と期待する。写真展は、店主へのインタビュー記事、雑誌店なども展示する。実行委員では書店の写真を「情報提供も呼び掛けている。問い合わせはポーターインク 098-835-2777か宮城さん 098-835-40315。

巡回日程は次の通り。

9月17・24日 II 大城書店読谷店(9月26日)・10月1日 II 名護博物館10月3・8日 II フックパークエッセイ(西原町) 10月24・29日 II 金武町図書館 11月1・13日 II 県立図書館 11月4日午後2時半・4時は同図書館で喜納さんと宮城さんが調査の様子を語るトークショー

(2017年3月5日(火) 琉球新報18面)

〈写真説明〉ブックパーリーOKINAWAと書店調査の紹介記事 (2017年9月24日(日) 沖縄タイムス一面)

### 大弦小孩

今から約30年前、沖縄市のコザ十字路周辺には本屋や古書店が10軒ほどあった。だが今、当時の店はほとんど残っていない。中学から高校にかけて毎日のように数軒をハイゴシ、そのうちの二つでハイトもしていた者としては寂しい限り。県内の本好きが楽しみにしている年に1度のイベント「ブックパーリーOKINAWA 2017」が、今年初めて「かつてここには町の本屋さんがあったなつかし写真展」という新企画が加わった。展示されているのは各地の本屋さんの写真だ。24日まで大城書店読谷店で開かれ、その後は名護市や西原町、那覇市を巡回する。出版社ポーターインクの編集者・喜納えりかさんとが県内書店の歴史を記録しようと取り組む調査で、関係者から入手した写真を「多くの人に読んでほしい、当時を思い出してほしい」と思い付いた。出版取次会社トハンの今年7月付のデータによると、県内書店がない自治体数は20で、北海道の58、長野県41、福島県28に続く。離島自治体も含まれるので、県外との単純比較はできないが、町の本屋さんの減少は、多くの人が実感しているに違いない。インターネットがなかった時代、書店は世界の最新情報に触れられる貴重な場所だった。写真展は、町の本屋さんが持っていた文化的役割を再考する契機になる。(玉城淳)

<2017-9-24>

## 【執筆・発表】

下記の通りで執筆・発表を行った。

〈写真説明〉調査の様子を連載した新聞記事 (執筆：宮城未来)

### なつかしの書店を求めて 県内写真巡回展に寄せて

宮城 未来

である。沖縄戦後の復興、始めた市場地や整頓しては数多くの書店軒を並べていた。50、60年代から現在に至るまで、書店は「くわがな」であった。だが、その当時を知る人々には非難に響かぬ書店の再興が、この巡回写真展に後押しを待たせよう。

写真展を始めたきっかけとして、喜納さんと宮城さんが、写真集を企画した。2017年9月10日、那覇市にある「ポーターインク」で、喜納さんと宮城さんが、写真集を企画した。2017年9月10日、那覇市にある「ポーターインク」で、喜納さんと宮城さんが、写真集を企画した。

2017年9月10日、那覇市にある「ポーターインク」で、喜納さんと宮城さんが、写真集を企画した。

### 皆が気軽に立ち寄った場

町の調査を行っている出版社「ポーターインク」が、写真集を企画した。2017年9月10日、那覇市にある「ポーターインク」で、喜納さんと宮城さんが、写真集を企画した。

2017年9月10日、那覇市にある「ポーターインク」で、喜納さんと宮城さんが、写真集を企画した。

石川市豊野城にあった日新堂。現在の有限会社サンテック。(1967年撮影、サンテック提供)

### なつかしの書店を求めて 県内写真巡回展に寄せて

宮城 未来

戦後、本供給へ教員尽力

戦後、本供給へ教員尽力

戦後、本供給へ教員尽力

(2017年10月6日(金)・7日(土) 琉球新報)

- ・ 沖縄県立図書館協会誌に掲載した調査にまつわる記事（執筆：喜納えりか）
- ・ 本屋調査に関する「東アジア出版人会議」向けの記事

## 6、むすびにかえて

膨大な資料調査、写真の収集、関係者への聞き取り、現地に入っの調査など、「沖縄の書店調査」は、非営利の事業団体として取り組むには多大な労力を要するものでありましたが、おきぎんふるさと振興基金さま、選考委員の皆様ほか関係者の方々よりあたたかいご理解と多大なるご協力を賜りまして、調査を大幅にすすめることができ、その成果として写真展を開催することができました。実行委員一同、心より感謝を申し上げます。これは沖縄の書店の歴史を残しておきたいと取り組むわれわれにとっての大きな一歩であり、また、書店を愛してきた多くの県民にとっても貴重な機会を提供できたことと考えております。

現在でも、ブックパーリーOKINA W A実行委員会は文献調査ならびに取材等も続けており、事業報告をかねた一冊の本にまとめることを今後の目標としています。一朝一夕に終わる取り組みではありませんが、こうした活動によって沖縄が誇る書店文化の継続発展へ寄与することができたら、これ以上の喜びはありません。お力添えを賜りました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

### ブックパーリーOKINAWA実行委員会

委員長 森本浩平（ジュンク堂書店那覇店店長）

委員 筒井陽一（リブロリウボウブックセンター店店長）

宮城未来（古書の店 言事堂店主）

渡慶次美帆（くじらブックス店主）

喜納えりか（ボーダーインク編集者）